

ISO9001：2015年版移行審査

株式会社蓬萊組 (ISO9001:2015、ISO14001:2004認証登録)

事業管理部 山岡 みゆき

当社は、岡山市に本社を置く小口径管推進工事の専門業者です。地下に管路を敷設するという一見地味な仕事ですが、私達の技術が下水道や情報管路を支えているという誇りを胸に、全国至る所で今日も工事を行っている建設もぐら達の熱きプロ集団です。

私が2月に入社した際は、第5回の更新審査を前に、2015年版移行の時機を検討している所でした。岡山の建設業者の先陣を切って1999年にISO9001を取得した当社のQMSは、良くも悪くもISOの枠を強く意識しており、今回の改正は事業の実態に即して変更するチャンスであると感じました。そこで、7月の更新審査時に移行審査も同時受審するべく、移行準備の担当に名乗りを上げ、4月からマニュアル改訂に取り組みました。これにより、新入社員の私は、業務の流れを整理でき、また、当社のQMSを展望することが出来ました。

7月の更新・移行同時審査では、女性社員3名を中心に、

楽しく有意義な審査時間を過ごし、無事に認証継続を頂くことができました。



本社（岡山市）

<http://www.houraigumi.co.jp/>

富山の麴づくりもうすぐ250年

山元醸造株式会社 (ISO22000:2005認証登録)

代表取締役社長 山本 衛

当社の起こりは、今から約250年近く前の安永元年(1772)に、先祖の室屋長兵衛が、加賀藩領越中高岡で麴屋を営んだことに始まります。室屋とは麴を作る家のことです。それ以来、味噌醤油を中心とした発酵食品の製造販売に事業を進展させて参りました。

代々受け継がれてきた伝統的技法は、「見習い」の言葉通り、先輩たちに見て、聞いて習うのが通常であり、また、品質の見極めは職人一人ひとりの「五感」に委ねられ、不文律のままに伝承されてきた側面があります。そうした職人から職人への伝承文化は当社の尊い宝ですが、そればかりに頼っても、いつも変わらぬ「おいしさ・安全・安心」をお届けできるとは限りません。ISO22000の導入は、伝統的技法を新しい未来に継承する手立ての一つとして、また、食の安全を確保するための手法として、有効に機能するのではないかと考えました。

ISO22000取得に踏み切る時は、ハードルが高すぎるのではないかと懸念もしましたが、いざ、取り組んでみると、社員一人ひとりが自主的に品質・衛生管理の在り方を見

直そうとする習慣が芽生え、又、社員同士で一致団結の気風が高まる様子が見られました。

今後ますます全社を挙げて、継続的改善に取り組んで参る所存です。



代表取締役社長 山本 衛氏（前列中央）

<http://www.yamagen-jouzou.com/>